

# 2022(令和4)年度 予算のあらまし

2022(令和4)年度予算が3月22日の市議会において可決されました。  
予算規模は、一般会計が1,613億6,600万円、特別会計が1,247億6,984万円、予算総額は2,861億3,584万円となっており、前年度の当初予算と比べ、それぞれ103.3%、102.7%、103.0%となっています。

なお予算書は市民相談情報課、各市民センター・公民館・市民図書館でご覧になれます。また、市のホームページの財政課のページからもご覧になれます。

問い合わせ 財政課 ☎内線2302、☎(50)8405

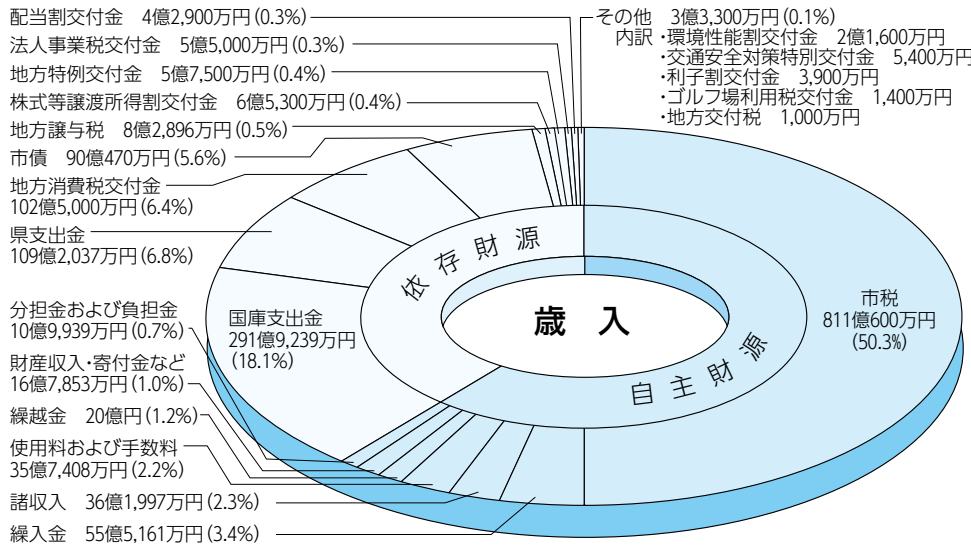
## 予算の規模

一般会計	1,613億6,600万円
特別会計	1,247億6,984万円
合計	2,861億3,584万円

## 一般会計

1,613億6,600万円

〔自主財源 986億2,958万円(61.1%)  
依存財源 627億3,642万円(38.9%)〕



## 予算の使い道を見てみましょう

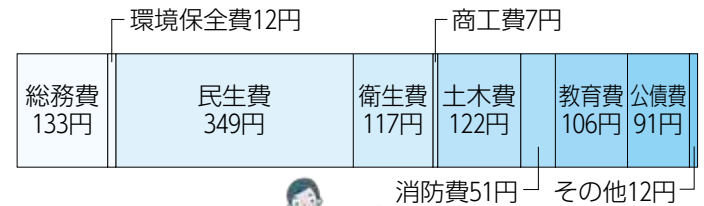
### 資料の基準

人口 441,708人  
世帯 197,827

2022年1月1日現在

### 市税1,000円当たりの使い道

納めていただく市税1,000円はこのように使われます



### ごみの処理対策にいくら掛かる?

●ごみ年間処理量 139,999t  
●処理費用 132億1,790万円

1人当たり

29,925円(年間)  
82円(1日)

1世帯当たり

66,815円(年間)  
183円(1日)

**議会費**  
1人当たり...1,572円  
1世帯当たり...3,509円  
●市議会の運営  
●議会史の編さん

**総務費**  
1人当たり...35,144円  
1世帯当たり...78,470円  
●庁舎・市民センターなどの運営、デジタル市役所  
●広報、税務、戸籍事務  
●防災対策

**環境保全費**  
1人当たり...3,957円  
1世帯当たり...8,835円  
●緑地保全、温暖化対策  
●水質汚濁などの公害防止  
●交通安全活動、防犯対策

**民生費**  
1人当たり...163,345円  
1世帯当たり...364,718円  
●高齢者・障がい者などの福祉・医療の充実  
●保育園の運営  
●小児医療

**衛生費**  
1人当たり...48,400円  
1世帯当たり...108,067円  
●感染症拡大への対応  
●健康増進、公衆衛生  
●保健所の運営  
●ごみの収集・処理

**労働費**  
1人当たり...950円  
1世帯当たり...2,120円  
●就労支援  
●技能振興

**農林水産業費**  
1人当たり...1,008円  
1世帯当たり...2,251円  
●農業・水産業の振興  
●地産地消の推進  
●担い手育成

**商工費**  
1人当たり...3,985円  
1世帯当たり...8,897円  
●中小企業、商店街の振興  
●観光客誘客のための宣伝、観光施設運営

**土木費**  
1人当たり...37,957円  
1世帯当たり...84,749円  
●市営住宅、公園、道路、橋りょう、河川の整備・維持

**消防費**  
1人当たり...13,759円  
1世帯当たり...30,721円  
●消防・救急のための運営、施設整備  
●大規模震災等対策

**教育費**  
1人当たり...33,955円  
1世帯当たり...75,815円  
●小・中学校、公民館、図書館、スポーツ施設の運営・整備  
●学校給食の運営

**公債費**  
1人当たり...21,064円  
1世帯当たり...47,035円  
●銀行などへの借入金に対する返済金

**予備費**  
1人当たり...226円  
1世帯当たり...505円

**合計**  
1人当たり...365,323円  
1世帯当たり...815,692円  
県下16市平均  
(横浜・川崎・相模原市を除く)  
1人当たり...366,221円  
1世帯当たり...836,854円

### 市民負担および収入の状況 (一般会計)

項目	1人当たり	1世帯当たり
自主財源		
市税	183,619円	409,984円
その他	39,672円	88,580円
依存財源		
国庫支出金	66,090円	147,565円
県支出金	24,723円	55,202円
市債	20,386円	45,518円
その他	30,833円	68,843円
合計	365,323円	815,692円

### 市税の状況 (一般会計)

項目	予算額
市税	811億600万円
市民税	370億円
固定資産税	326億60万円
都市計画税	60億7,500万円
事業所税	24億4,370万円
市たばこ税	24億1,280万円
軽自動車税	5億6,500万円
入湯税	790万円
特別土地保有税	100万円

### 都市計画税の使い道

下水道費	31億5,209万円
土地区画整理費	14億7,481万円
公債費	7億7,256万円
公園費	6億2,865万円
街路事業費	4,689万円
合計	60億7,500万円

### 入湯税の使い道

観光振興費	790万円
-------	-------

### 森林環境譲与税の使い道

みどり普及費	3,628万円
--------	---------

### 事業所税の使い道

道路維持費	5億1,428万円
地震対策費	3億1,458万円
土地区画整理費	3億1,320万円
小学校費・学校建設費	2億3,357万円
公園費	1億8,528万円
道路橋りょう総務費	1億5,383万円
公害防止費	1億2,087万円
道路新設改良費	8,258万円
中学校費・学校建設費	6,733万円
都市計画総務費	6,587万円
学校給食管理費	5,639万円
橋りょう維持費	5,112万円
特別支援学校費・学校建設費	3,834万円
体育施設費	3,472万円
橋りょう新設改良費	3,312万円
下水道費	2,591万円
街路事業費	1,397万円
河川改修費	1,291万円
その他	365万円
合計	23億2,152万円

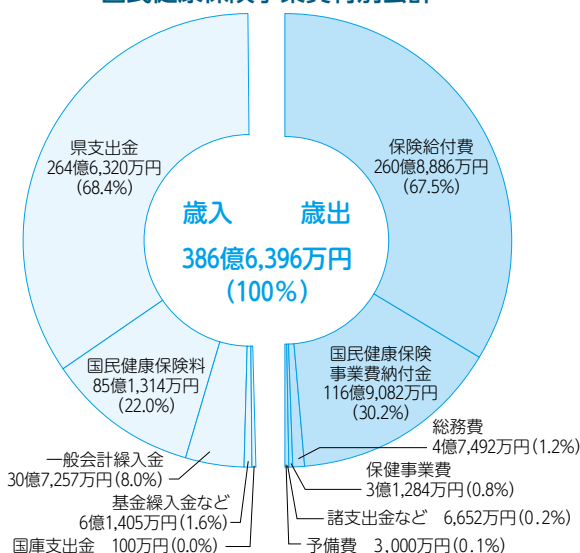
※徴収に要する費用を控除しています

# 特別会計

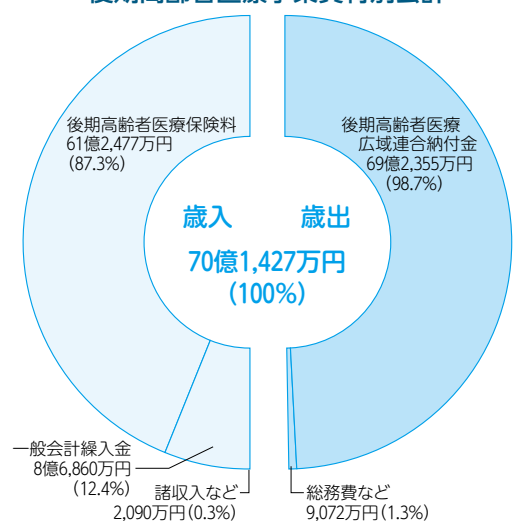
市の予算には、一般会計のほかに7の特別会計があります。下水道や病院などの事業は、特定の料金収入によって運営しています。この場合、一般会計と区別した特別会計のもとに予算を編成し、それぞれ独立して事業を実施しています。

特別会計	国民健康保険事業費	386億6,396万円
	後期高齢者医療事業費	70億1,427万円
	介護保険事業費	318億1,676万円
	下水道事業費(公営企業会計)	198億5,744万円
	市民病院事業(公営企業会計)	240億8,490万円
	北部第二(三地区)土地区画整理事業費	27億3,239万円
	墓園事業費	6億12万円

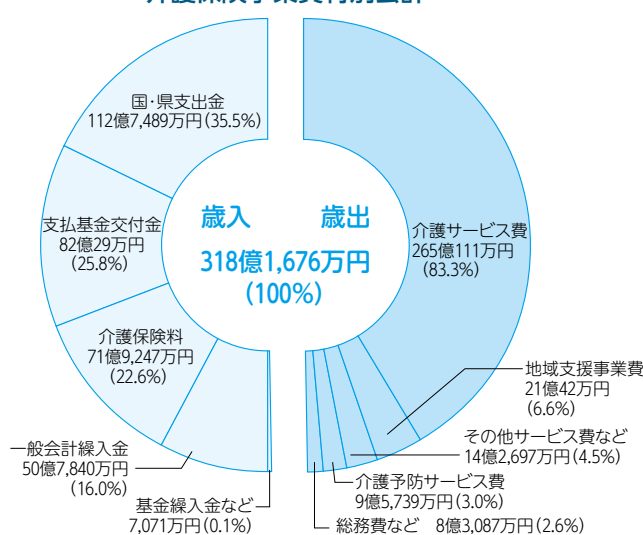
### 国民健康保険事業費特別会計



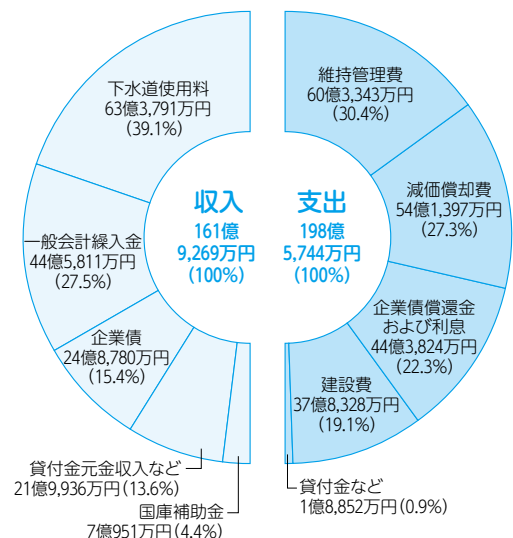
### 後期高齢者医療事業費特別会計



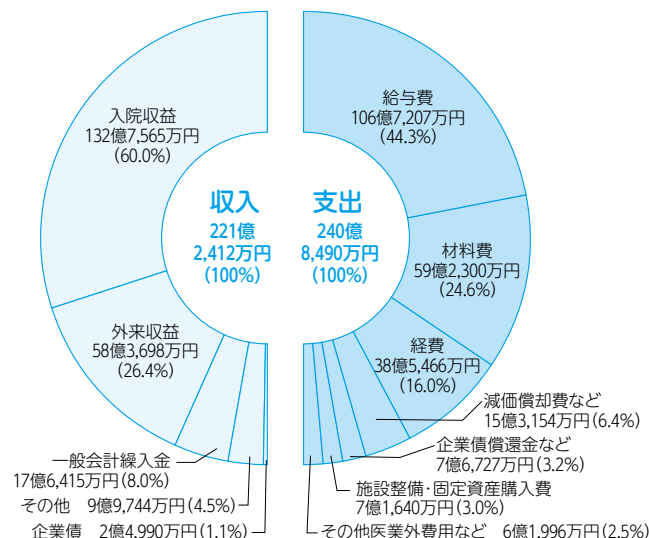
### 介護保険事業費特別会計



### 下水道事業費特別会計(公営企業会計)



### 市民病院事業会計(公営企業会計)



## そのほかの特別会計

### ○北部第二(三地区)土地区画整理事業費

快適に暮らせるまちづくりのための土地区画整理事業として、湘南台駅の北西約1.5kmに位置する面積275.2haの区域を整備するために設置した特別会計です(予算総額27億3,239万円)

### ○墓園事業費

豊かな緑に囲まれた都市公園機能と心安まる墓地環境を兼ね備えた大庭台墓園を運営するために設置した特別会計です(予算総額6億12万円)

※湘南台駐車場事業費は、事業債の償還終了に伴い、2021年度で廃止しました

※地方公営企業法が適用される会計として、下水道事業費と市民病院事業の2つがあります。この公営企業会計では施設整備などの財源として、グラフに示した収入以外に、減価償却などに伴い発生する「現金の支出を伴わない費用」により会計内に残る資金(内部留保資金)があり、この資金を充てることによって、支出と収入の差額を補っています  
※各数値は端数処理を行っています